

横浜市立豊田小学校 平成29年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○全校で取り組む学校保健委員会や食育で学んだことなどを生かし、自分の体に興味をもって健やかな体をつくろうとする態度を育てます。また、一校一実践運動の「長縄」を通して、体力向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自分の考えをもち、その考えを伝えたり伝え合ったりする授業を行い、学力を向上させます。 一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。 健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

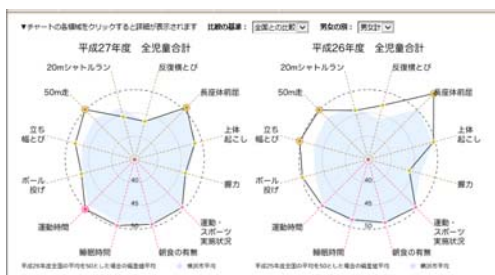
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	子どもの体育・健康面の姿から課題を明確にし、体育科・保健体育科の授業を中心としながら、教育活動全体を通して健やかな体の育成を目指す。	① 重点研究や校内研修による、体育科・保健体育科の授業改善を図る。 ② 体力テストや独自指標等の結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の改善を図る。 ③ 体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・全国平均や市の平均に比べ、持久力・巧緻性は上回っているが、柔軟性がやや下回っている。
- ・給食の時間を楽しみにしている児童が多く、どのクラスもよく食べる児童が多い。「まごはやさしい」を合い言葉にし、野菜を使った副菜や和食に使われる、ひじきや大豆などもよく食べるようになってきた。
- ・日々の欠席者数は平均すると10人前後と少なく、規則正しい生活を理解してきている。しかし、ケガや体調不良での保健室来室は増加傾向にある。
- ・地域に外遊びができる空間は十分あるものの、よく体を動かす児童と、そうでない児童との二極化が顕著に表れている。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均と同等の記録が出ているが、20mシャトルランについては、下回る学年が多い。また、横浜市と同等の記録であるが、反復横跳びも全国を大きく下回っている。走る運動経験の少なさが影響しているものと思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・運動の特性
- ・運動への興味関心
- ・体力、技能向上
- ・安全
- ・健康管理

《他教科での取組》

- ・食文化
- ・栄養と食べ物
- ・体の仕組み
- ・家庭科

道徳・特活・総合

《道徳・特活・総合での取組》

- ・自己の最善を尽くすこと
- ・めあてをもつこと
- ・感謝の心
- ・遊びの工夫

《一校一実践での取組》

- ・ともに運動する喜びや楽しさを知り、心豊かな人間関係づくりを行う。

課外活動

- ・運動会
- ・球技大会
- ・体育大会
- ・歯科巡回指導
- ・学校保健委員会
- ・健康診断
- ・体育協会との連携事業

平成29年度 豊田小学校 体力向上1校1実践

《名称》 目指せ！長縄最高記録

《ねらい》 自ら進んで運動に関わり、運動する楽しさや喜びを味わう
自己の能力や可能性に気づき、自尊感情を高める。

《内容》 毎月行われる長縄記録会に向けてクラスで日々練習を行う。
記録会で3分間の長縄記録をとる。

●指 標： ①記録会后に、クラスの回数を記録する
②前期と後期の末に振り返りを行う。 「事前取組」 「満足度」